



県展 ジュニア

第21回鳥取県ジュニア美術展覧会

出品目録

絵画
デザイン

書写

写真



中部展示

会期：令和5年12月14日（木）～12月19日（火）

9時～17時 ※休館日：12月18日（月）

会場：倉吉未来中心（全ての入賞作品と中部地区の入選作品を展示）



主催 鳥取県・鳥取県教育委員会

後援 新日本海新聞社・朝日新聞鳥取総局・山陰中央新報社・産経新聞社・中国新聞鳥取支局
 毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局・共同通信社鳥取支局・時事通信社鳥取支局
 NHK鳥取放送局・BSS山陰放送・TSKさんいん中央テレビ・日本海テレビ
 テレビ朝日鳥取支局・いなばぴよんぴよんネット・日本海ケーブルネットワーク・中海テレビ放送
 鳥取中央有線放送(株) (順不同)

運営委託先 日本通運株式会社山陰支店

■目次

1 絵画・デザインの部	2
2 書写の部	5
3 写真の部	7
4 講評	8
5 審査員	11

(注)出品目録の掲載順と、会場内の展示順は異なります。

特別賞は、各部門の知事賞受賞作品の中から学年を問わず1作品ずつ選出されます。

絵画・デザインの部

題名	氏名
知事賞	
ぼくのおこがれ 伯桜鵬	船木 誠人
ぼくのみみつの場所	安達 勸大
列車がくるよ!	小濱 希奈
雨上がりの大山口駅	田中 千尋
大会の朝	▶ 特別賞 ◀
エール	岩倉 葵
	井上 和奏

教育長賞	
ようちゅうパーティー	太田 景
きょうりゅうにのった	南場 晴太
鳥の郵便配達	古川 未華子
大好き、どんどろけめし	藤原 郁菜
頭の中は海のパラダイス	釜谷 月歌
ジャングルで大ピンチ!!	山根 優芳
共存	麻木 悠生
キャンプの思い出	長山 結衣子
ニホントカゲを見つけたよ	渡邊 新
若虎	片山 百香
paradox	加藤 弘大
80' s サマーバケーション	矢田 夏子
種飛ばし	末宗 とうこ
遠い星で	高梨 大和
うちのイシガメ	盛山 琴花

奨励賞	
イルカがとんだよ	松本 陽詩
かぶとむしをみつけたよ!	大森 陽太
かたつむりとあそんだよ	山坂 陽大
カメをみつけたよ	塚根 百合子
だいすきだよ	田中 千尋
トビウオにのって海のぼうけんに	植田 咲菜
うちゅうのたまご	池本 翔
梨をがぶり	三浅 誉格
夏の思い出	藤尾 昊生
すきなぼうしが見つかった!	江谷 唯那
はじめてのカヌー	太田 岬
とても大きいカキツバタ	山根 竜嗣
わしの手ぬいいでこらえてください	岡森 葵音
いろんな国からやってきた	本池 真衣
夢...考え中!!	山影 くるみ
青空の下の花畑	濱田 緑

Peace	ディナウドン 檢莉
現代のかわら版で米子城再現	米原 花恵
白頭わしが降りる川	泉 元
私の大切な風景	林 なずな
水中神話	片山 詩菜
私のパワースポット	椋田 智香
自分デザイン	居組 圭悟
甲川	國谷 文乃
魚たちの進む道	竹村 悠
泰然自若	山崎 佳歩
犬の散歩	太田 暖乃
火蜥蜴	芳野 英伯
花	木村 一穂
親子	横山 和奏
人と暮らせば	谷口 紗菜
星空	西田 ひより
森と湖の国	隅田 心

入 選

はなび 桐野 楓凜
 ふねの近くにイルカがきたよ 清水 菩宏
 くわがた 白水 瑛人
 ふじさん くも ゆうやけ 中山 健
 力を合わせてがんばったよ 西尾 祐里
 ティラノザウルス 前田 瑛輔
 たかいところまでのぼったよ 山崎 風歌
 おねえちゃんとプールにいったよ 松原 紗季
 なしばたけでむしたちがおにごっこ 山本 心遥
 おさかな だいすき 高橋 廉
 たのしいさかなとり 中口 凌太郎
 みやまくわがたをつかまえたよ 前田 十和
 おどるイカ 村岡 嵩太
 らいおんにのりたいな 山崎 千尋
 まつかぜりょうこ 山田 樹
 ニジマスをつったぞ！ 安藤 大悟
 モンキアゲハがとんできた 小林 莉桜菜
 よるのこん虫見いつけた ジアディーン 望空
 花火を見に行っちゃったよ 高田 桃歌
 ネコ 伊達 友二郎
 ゴジラが海に入る 原口 煌生
 トンボをつかまえた 山下 修志
 クワガタムシ 森本 新太
 クワガタと おいかけっこ 奥山 照
 さとうてるあきせんしゅ 田中 琉来
 クワガタと おさんぼ 村岡 勇仁
 とんぼにのって おさんぼ 吉田 理玖
 誰？ 加藤 大智
 夜のライオン 金田 虎之助
 エメラルドグリーンで海で
 サングをひろったよ 清水 芙紀
 しあわせのバブルリング 杉本 千沙都
 感じる視線 谷口 莉音
 ぼくとオリーブ 村上 悠
 大きく育て星 空米 山崎 心晴
 ねている犬 山根 和門
 ヒラタクワガタが
 じゅえきを見つけたよ 河本 獅堂
 クワガタ 澤 奏多
 サザエをとったよ 田宮 有希子
 クワガタにのって空をとんだよ 森本 恵美
 ここをぬいて、次はシュートだ！ 秋下 柑奈
 空までとどけ 井中 奏介

僕のともち 北谷 凱
 カブトムシ 伊達 丈一郎
 夕方のスカイツリー 田中 櫻子
 橋津の海で見つけたよ 西尾 美里
 みんなで花火をみたよ 本田 希星
 ぼくの見た花火 松本 空
 サギの黙示 田園の守護者 山下 伶大
 見てみたいな海の中のこんな世界 岩田 ゆず花
 家族でサーフィン&SUP 平尾 涼葉
 精進湖でのカヌー大会 石田 莞典
 キラキラかがやくアメジスト 音田 絢梨
 夢で見た月夜にうかぶ海賊船 河田 健太郎
 マスつかみどりてきたよ 西脇 湊人
 カヌー体験したよ
 ~海と空と岩に感動~ 大西 菜生
 おじいちゃんの夏野菜 小矢野 美心
 夏のニジマスつり 安藤 結花
 海 石賀 日向多
 チャイニーズランタン願いをこめて 石原 青衣
 ヤマトノオロチ 磯江 悠介
 父の仕事 岡野 董
 明日に続く道 小椋 日生希
 モザイクでかいた佐治の川 嘉戸 浩明
 記憶のカケラ 谷口 由乃
 おばあちゃん 散ばつありがとう 前田 円花
 船上山に登ったよ 保田 朔奈
 剣道 長田 莉香
 優しい光が差し込む海 西本 頼
 夏の希望 牧野 友香
 生きもの観察会に参加したよ 斉木 哉汰
 逆さ伯耆富士 横河 旭
 エキスポシティ 大観覧車 河本 悠月
 東京駅 君嶋 響子
 泳いでいる私 森本 智恵
 はまべとくだものと鳥 森本 優恵
 鹿をさわる 私 石原 月望
 あのチームに勝つんだ！！ 伊藤 雄哉
 2025年への期待 岡野 あかり
 僕の夢の浮島 木山 遙絆
 夕日の海 倉恒 花
 いとこと山 坂上 葉絆
 神をよぶオオカミ 高嶋 千春
 今日も咲く 谷口 萌依

夏に行った出雲大社	馬場 洸太
葉っぱの傘	本谷 安弥
象	山根 資道
夏雲と大鳥居	山本 樹杜
かがみの世界	米原 ひなた
ひまわり	中村 心優
夕日にそまる東郷池	山田 多穂
ねえね、見て!	生田 和奏
次は私の番 頑張るぞ!	黒木 咲花
いい天気	治郎丸 琴
狛犬	山元 樹里
隠岐の海	竹歳 心美
飛翔	伊藤 幸絆
オニヤンマ	盛山 遥生
牛の食事前	西長 磨人
世界線	阪上 ひなた
犬日和	野嶋 さゆり
大山と牛	西村 実紗
花火	野間田 結菜
晴れ姿に咲く笑顔	山本 朱樹
AM 5:18	河村 美貴
草原のうさぎ	田中 紅芭
夜明け色	綿田 渚

書写の部

題名

氏名

知事賞

きじ	関 翔太
天上	山根 知夏
祝祭	野坂 律季
伝承	片岡 彩希
成就	田中 真由
生命の尊重	河上 由依

特別賞

教育長賞

もみ	川崎 あおは
ほん	藤後 瑛心
こだま	白根 ゆずは
ともだち	清水 ミチル
天地	黒岩 莉穂
水玉	原 歩乃佳
主役	今岡 駿介
発展	細田 結月
星祭	宮木 菜乃
流星	今岡 莉子
天真	谷田 実和
銀河	小早川 由羽
福德	角森 彩織
筆法伝承	佐々木 由愛
星群流美	楨野 可望亜

奨励賞

にじ	熊野林 莉央南
いろ	伊塚 天音
たね	堂前 玲衣
夏	中西 陸人
たね	本池 希依
みどり	夏目 花奈
はね	村上 千菜美
ゆめ	竹口 水唯
山里	北園 万里子
七夕	精山 楽々
山里	山根 凜
ひまわり	吹野 すみれ
大地	田中 悠里
天光	藤原 菜月
花火	渡邊 光里
土地	濱田 結羽

星空

恩部 愛子

元氣

小早川 羽瑠

天地

六尾 太郎

立志

高塚 柚衣

湖

安住 羽生

挑戦

景山 輝心

政治

長谷川 妃織

星ふる夜

紺野 菜

流星

大井川 華菜

共存

小林 稜空

誠実

永川 嬉來

真実

加藤 亜美香

射光

加藤 柚香

挑戦

藤島 千暖

誠意

鹿原 怜衣

誠実

山本 百恵

謝恩

林 結心

開拓の精神

藤本 真帆

有終完美

坂本 有

花意竹情

盛山 琴花

入 選

とり	深田 大聖
土	三好 智也
にじ	山根 充貴
せみとり	小寺 咲緒
せみとり	富盛 裕唯
花火	福田 百夏
七夕	津村 詢人
七夕	浅田 琉莉
七夕	森下 冬華
上を向く	市村 莉子
上を向く	岡野 星香
上を向く	岡本 亜子
空	名越 翔
大山	三好 優花
上を向く	山本 怜
せかい	金田 祢音
行楽	中本 芽依
花火	難波 千鶴
たい	仁科 湊翔
満月	眞山 愛乃音
水玉	三浦 陽菜子
雨雲	山形 芹
天体	橋本 奈央兜
夏の大山	岩本 紗和
白雲	小椋 唯乃
希望	三崎 ゆい
土地	森上 恵麻
活力	吉田 和奏
活力	岩本 莉愛
星空	小谷 咲和
白馬	竺原 礼佳
希望	永川 泰久
大空の旅	牧田 希花
誠実	安達 夕純
決意	石賀 寛菜
出発	井奥 有惟
旅情	小谷 美結
旅行	田中 斗優
尊敬の念	廣谷 七愛
希望の春	前田 果恋
初志	宮本 昌治

旅行	森上 理心
旅行	川崎 由葵
高原列車	荒井 桃佳
行雲流水	久保 陽花
高原列車	谷口 愛生子
清夏	筒江 このみ
星雲銀河	秋吉 南奈
挑戦	小椋 咲南
芸術	清水 彩里
永和九年歳在	野間田 結菜
野外活動	山本 朱樹
綿雲	杉谷 泉里
綿雲	富澤 愛

写真の部

題名	氏名
知事賞	
おとうととえいがにらめっこ	市橋 俊太
しゃぼん玉と女の子	福田 萌々
ここだけの景色	伊藤 深雪
い・も・う・と	安藤 花
夜空に輝く華	木村 莉彩
My Sand Dune	特別賞 太田 音寧

教育長賞	
けむりはなびりゅう	亀尾 源
カブおしほかく大ざくせん	牧田 葉歩
氷の仮面	濱田 かな
さかさまの国へレッツゴー	谷口 朔
3人で見たね!	井川 葉
夏の水風呂	野津 渚
じいさんに夏休みがやってきた	尾川 小都

奨励賞	
東京の山と川	安田 權
君たちには今何が見えている?	清水 ミチル
初めまして子牛さん	恩田 奈緒
嵐の後に……	平野 愛衣
クモ	小早川 羽瑠
カラーコーンの中	福井 琉矢
一瞬の見つめ合い	田中 結
刹那の王冠	居川 珀
開拓のノスタルジア	井上 忠信
「強く生きろよ」	黒木 悠佑
おーい、金斗雲 鳥山明の世界	田子 温仁

入選	
夏の自主練習	山本 庵侍
田植えの神様	三崎 ゆい
がんばれおじいちゃん	南 樹輝
え!?龍!!!~月と雲のいたずら~	長柄 香凜
夏休みの始まりと終わりの日	野見 育生
僕のお父さん	宮川 夢大
蟬生まる	中本 樹里
うみ	池口 雫

講評【絵画・デザイン】

(講評及び作品評は各部門審査員が執筆)

●小学校

今年のジュニア県展からは、従来以上に制作者の表現意欲と自発性を重視する為に、試みとして募集方法や締切を多少変更して実施しました。その影響もあってか出品数がやや減少しましたが、それでも小学校だけで二千点を超える応募があり、昨年までと比べても完成度が高く、制作者の思いがしっかりと伝わる力作が多く見られました。

低学年は、日常生活の中で心に残ったことや好きなものを楽しみながら描いた作品が目立ちました。中学年は、幅広くバラエティーに富んだ題材や表現が多くあり、伸びやかな表現の中にも細部へのこだわりを感じさせる作品もありました。高学年は、風景・人物からデザイン作品に至るまで、画面構成に工夫を凝らした作品が多く、しっかりと時間をかけて作品づくりに向き合ったものが目立ちました。

学校単位で応募された作品だけでなく、各ご家庭で制作された絵画も多く、本展覧会への関心の高さがうかがえました。

●中学校

今年度は募集時期の変更もあってか、少し応募点数が減りましたが、例年にも増して力のこもった作品の割合が高いように感じました。

小学生と比べ、中学生になると描写する技術や見栄えよくまとめる力がつく分、それが作品のテーマそのものになっているような作品も見受けられました。大人の真似事をするのではなく、今の自分、中学生の自分だからこそその感じ方、ものの見方、とらえ方を表現した作品が、みる人の心を揺さぶるように思います。荒削りな所、少し稚拙(ちせつ)なところがあっても伝わるものだと思います。

作品をつくる時、「なぜ自分はそれを描きたいのか」、「それを表すには、どんな方法がいいのか」など等身大の中学生が、素直に自問自答して、自分なりの答えを導き出してほしいと思います。

●特別賞 「大会の朝」中2 岩倉 葵(米子市)

光と影の表現が実にうまく表現されているのですが、ここにドラマ性があって、思わず引き込まれていきます。これは見る者にとっての大事な部分だと思います。さりげない一コマですが、色々な想像を駆り立ててくれます。やれるだけのことはやっただろう少年に輝ける太陽はきっといい結果をもたらしてくれることでしょう。

講評【書写】

(講評及び作品評は各部門審査員が執筆)

●小学校

今年、1,248点の作品が寄せられました。好きな言葉、書いてみたい言葉、ひらがな、カタカナ、漢字…今年、どんな作品を書こうか？きっと迷ったことでしょう。学校の書写の学習時間・書塾で、先生と相談しながら、家庭で、おうちの方と相談しながら、今年の課題を決めたことと思います。作品を見ていると、筆にたっぷり墨をふくませて、半紙に書いているみなさんの姿が浮かんできました。今年も一点一画もおろそかにすることなく、名前を書き終えるまで丁寧に書いた作品がたくさんありました。低学年の作品は、「とめ」「はね」「はらい」などの基本の筆づかいを繰り返し練習してきたことをいかし、ひらがなの言葉を半紙いっぱい大きく、太い線で書いている作品が多くありました。中・高学年の作品は、漢字二文字～四文字の言葉、漢字仮名交じりの作品と、書いてみたい言葉を何度も練習していたことが伝わる作品が多くありました。これからも、柔らかく、弾力のある筆の特徴をいかして、作品を仕上げたいと思います。

●中学校

421点の作品が寄せられました。今年、行書の作品が多くあり、中学校で初めて学習する行書に粘り強く取り組む姿勢が見られました。行書の特徴の一つとして連続がありますが、気持ちのつながり、動いている姿が形となって表れています。そのことを踏まえ、自分が書く時のリズムや呼吸を意識すると、より自然でなめらかな点画のつながり、筆脈となり、さらに良い作品になると思います。

また、四字の作品に挑戦する人が多くなりました。半紙にどう収めるか工夫しながら書いたと思います。画数の多い字の大きさや、漢字と平仮名の大小のバランスを考えると、紙に対する文字の収め方が上手くなります。文字の形だけでなく、全体を見ることも意識しながら書いてみてください。

中学校で書写の学習は終わりますが、書の世界はとても広く興味深いです。文字を書くことや文字そのものに関心を持ち続けて楽しんでくれることを期待しています。

●特別賞「生命の尊重」 中3 河上 由依 (大山町)

行書作品として大変立派な作品です。「生命の尊重」という言葉を心を込めて丁寧に、柔らかく筆づかいで書いています。ここまでの作品にするには、何枚も書いたことと思いますが、何度も繰り返すことによって、点画の連続をはじめ、行書の特徴がしっかりと体に染み込み、表現することができ、上手く一枚の中にまとまっています。堂々とゆるぎなく、書くことを楽しんでいる姿が浮かびました。これからの成長を期待しています。

講評【写真】

(講評及び作品評は各部門審査員が執筆)

●小学校

昨年より出品数が減っているのが残念ですが、その分しっかりと作品を見る事が出来ました。昆虫、家族、友達、今年も不動の人気被写体です。花火の写真も多かったです。身近にある大好きなものを気負わずに撮影し、生活の一部のように楽しんでいる様子がとてもよく伝わりました。実際スマートフォンでも気軽に写真が撮れる時代ですから、心に響いた場面をどんどん撮影してください。わくわくときめく瞬間を見つける感性磨きは、写真や芸術をより一層面白くしてくれるでしょう。でも、だからこそ大事にしたい撮影のポイントがあります。毎年のようにお伝えしているのですが、それはとても基本的な事。ピント、構図、色調、プリント仕上げなどです。今回の作品審査で、甲乙つけがたく迷った際の選考の決め手にもなりました。基本を意識してファインダーを覗いてみれば、新しい発見や気付きもあるのではないのでしょうか。

●中学校

中学生は基本に忠実な作品が多く努力を積み重ねている様子がうかがえました。ただ「正解」を意識しすぎると、見たことのあるような画面になってしまいがちです。ユニークさや、着眼点の面白さも現れた作品づくりを意識するとさらに良い作品になると思います。

他の人の写真を見て、いいなあと思い、まねをして撮影すること自体はいい事です。ただその後で、自分は何が撮りたいのか、何に心を惹かれるのかを考えて、自分の視点で切り取ることに取り組むと、ステップアップにつながるのではないかと思います。そういう点では、次に何を撮るのか見てみたいと期待が膨らむ作品が多くありました。

また、ピントが合っていない、印刷の不具合や写真専用の紙ではないなど惜しい作品も少なくありませんでした。内容が良かっただけに大変残念に思いました。出品前に念入りにチェックをしてほしかったです。せっかくの作品ですから。

●特別賞「My Sand Dune」 中3 太田 音寧（鳥取市）

自然が豊かな鳥取県において、夕日や鳥取砂丘はよく撮影されるモチーフです。本作では、砂が付着した手の甲を砂丘に見立てることによって、新しい考え方による「夕日と砂丘」の写真をつくりあげました。自分の手をアップにした構図も良く、腕時計のミントグリーンが黄色い太陽と呼応しながら画面をしっかり引き締めています。細部まで気持ちの行き届いた作品です。

令和5年度
第21回鳥取県ジュニア美術展覧会 審査員

部 門		氏 名
絵画・デザイン	小 学 校	内田 紘代、奥谷 健史、梶浦 紀子 小林佐知子、富山 秀敏、中川由紀子 中村 将人、宮田 貴俊、安田 政彦、山根真奈美
	中 学 校	石田しのぶ、小川由利香、古川 正樹
書 写	小・中学校	遠藤 肇、河合真由子、中野 志保、松岡 美里 山本 敦、淀瀬 由美
写 真	小・中学校	竹氏 倫子、二宮 好子、吉岡 歩

(50音順)

県内の文化イベントなどの情報を発信しています。

Facebook



X ((Twitter))



YouTube



県展・ジュニア県展専用の SNS アカウントはこちら▼

Twitter



Instagram



第 21 回鳥取県ジュニア美術展覧会

ジュニア県展出品目録（中部展示）

発行・編集 鳥取県

〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220 番地

鳥取県地域社会振興部文化政策課

電 話 (0857) 26-7133

ファクシミリ (0857) 26-8108
